

# ユニバーサルデザイン2020関係府省等 連絡会議について

平成28年4月15日

内閣官房オリパラ事務局

(内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局)

# ユニバーサルデザイン2020関係府省等連絡会議について

## (1) 概要

- 2020東京大会で適用される国際パラリンピック委員会に承認されたより高いユニバーサルデザインの水準を全国に展開（施設等ハードと接遇等ソフトの両面）
- これまで取組が十分に行われてこなかったいわゆる「心のバリアフリー」を推進
- オリパラ大臣の下省庁横断的な政策を立案、実行し、共生社会を次世代に誇れるレガシーとして創り出す。

### <構成員>

座長：オリパラ大臣

副座長：内閣官房オリパラ事務局長

構成員：内閣官房オリパラ事務局企画・推進統括官、内閣官房国土強靱化推進室審議官、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）、内閣府政策統括官（防災担当）、警察庁交通局長、総務省情報通信国際戦略局長、消防庁次長、法務省人権擁護局長、文部科学省初等中等教育局長、スポーツ庁次長、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長、農林水産省食料産業局長、経済産業省商務情報政策局長、国土交通省総合政策局長

オブザーバー：東京都オリパラ準備局長、東京都都市整備局長、東京都福祉保健局長、大会組織委員会副事務総長、日本パラリンピック委員会委員長

事務局：内閣官房



## (2) 検討項目

- 障害に対する国民の理解と意識を高め、個性として受け入れる社会風土を醸成する。
- これまでの施設のバリアフリー基準をどこまで広げ、どの部分を高めるのか。
- ハードとソフトを連動させることでよりユニバーサルな社会構造へ進める。

### <検討項目(案)>

#### 1. 心のバリアフリー

##### (1) 教育

- ①「心のバリアフリー」教育の実施(幼・小・中・高)
- ②「心のバリアフリー」促進に向けた大学連携の活用

##### (2) 民間事業者等への働きかけ

- ① 接遇対応の改善
  - a) 交通分野におけるサービス水準の確保
  - b) 東京大会で作成される「接遇テキスト」の幅広い展開
  - c) 多目的トイレの利用マナーの向上
- ② 企業における「心のバリアフリー」の社員教育の実施
- ③ 障害者等を支えるボランティアの促進
- ④ 災害時における障害者及び外国人に配慮した避難のあり方

##### (3) 国民全体に向けた取組み

- ① 障害者への理解促進や障害者へ配慮する行動の促進
- ② 障害者の社会参加の促進
- ③ 健常者と障害者がともに参加できるスポーツ大会等の開催を推進

#### 2. ユニバーサルデザインの街づくりの推進

- (1) 東京大会の競技会場、アクセス経路等の整備
- (2) 各地において、アクセシビリティ・ガイドラインを踏まえた高い水準のユニバーサルデザイン化を推進
- (3) 複合施設(大規模駅や地下街等)において、連続的・一体的なバリアフリーを実現
- (4) 障害者用トイレの整備の推進
- (5) リフト付バス・UDタクシーの普及
- (6) ICTを活用したきめ細かい情報発信・行動支援

## (3) 分科会の設置

○検討項目（案）に基づき、心のバリアフリー分野及び街づくり分野において、専門的な見地から施策の具体化を行うため、心のバリアフリー分科会及び街づくり分科会を今月日途に設置。

（各分科会においては、学識経験者、障害者団体、専門家、関係事業者、関係省庁等を構成員とし、様々な立場の人たちの意見を広く反映させる。）

## (4) 今後の予定

- |            |  |
|------------|--|
| 2016年2月    | 第1回連絡会議（取組状況、検討項目（案）の提示、心のバリアフリー分科会及び街づくり分科会の設置） |
| 3月～        | 心のバリアフリー分科会及び街づくり分科会において検討を実施                    |
| 6月         | 第2回連絡会議（障害者団体等との意見交換）                            |
| <u>8月</u>  | <u>第3回連絡会議（中間とりまとめ）</u>                          |
| <u>12月</u> | <u>第4回連絡会議（とりまとめ）</u>                            |

## (5) 2020年に実現するユニバーサルデザインのイメージ

東京大会で適用されるこれまでより高い水準のバリアフリー基準を各地の観光地等に展開



【エレベータ】



【歩行空間】

導入が一部にとどまるリフト付バスやユニバーサルデザインタクシーを空港や街中において普及

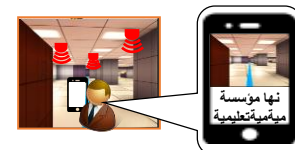


【UDタクシー】



【リフト付きバス】

ICTを活用して、バリアフリー経路のきめ細かい情報提供や行動支援を実現



【バリアフリー経路の情報提供や行動支援】

交通・観光分野の事業者による統一的な接遇対応のガイドラインを策定



【交通事業者向けバリアフリー教育訓練】

障害者等への接し方を学ぶことができる学校教育のあり方や企業における「心のバリアフリー」社員教育モデルの作成



【車椅子サポート体験】

多目的トイレ等について利用マナーのあり方



【多目的トイレ】



【観光地】



【公共交通機関】



【国民全体の心のバリアフリー】



大会スタッフ等による接遇

### 2020年東京大会



2020アクセシビリティ・ガイドラインに沿った高い水準のユニバーサルデザイン及び心のバリアフリーの実現

全国各地へ展開